

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表日:令和6年3月15日

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|------------------|--|---|----|---------------|--|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | 利用者数に応じて適宜配置している |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | ○ | | | バリアフリーにになっているが入ってからの扉が若干障がいを感じるので今後改修も検討する。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | | ○ | | 常勤職員だけではなく非常勤職員を含めた定期的な会議等を持っており、広く忌憚なく意見が反映できるようにしている。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | | | ○ | 自己評価表だけでなく、今後行事の際等にもアンケートを実施し参考としていく。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | | ○ | 必要に応じて導入を検討する。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | 外部研修があればスタッフを派遣し質の向上を図っている。 |
| 適切な 支援の 提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | アセスメントツールを使用し計画を作成している。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ○ | | | 同上 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | 定期的な会議等を行い活動プログラムの立案をしている。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | | 同上 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | | ○ | | 全ての日においてももう少し課題をきめ細かく設定できるよう計画立案をしていく必要があるので計画的に設定していく。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 個別カンファレンス等の機会を増やし個々の状態に応じた内容を立案する。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | | ○ | | 打合せができない際は文書での申し送りをするなどして確認が行えるようにする。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | | ○ | | その日のスタッフだけでなく、その日いないスタッフにきちんと情報共有ができるように申し送りノート等活用していく。 |
| 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | | ○ | | 経過記録が適切に記載できるような研修を実施し、記録の徹底が行えるようにしていく。 | |

| | | | | | | | |
|--------------|----|--|---|--|---|---------------------------------------|--|
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | 実効性があるモニタリングの方法検討する。 | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか | | | ○ | 今後必要に応じて実施する。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | | | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | ○ | | | 送迎時に学校での状態を確認しているが、学校からの発信が少なく調整が難しい。 | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | | ○ | 直接は実施していないが何かあれば家族等を通じ伝えてもらうようにしている。 | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | ○ | | | 今後必要に応じて情報共有を実施する。 | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | | | | ○ | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | | | ○ | 可能な限り参加している。 | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | | | ○ | 今後必要に応じて交流する機会を模索したいが、様々な問題もあるため慎重に検討する。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | | | | ○ | 参加したいが協議会には民間事業所(営利法人)が参加できない。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | | | ○ | | 今後、必要とされる保護者様については実施していく。 |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | | | ○ | 専門的な研修等の機会を持ち適切な支援が行えるようにする。 | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | | | ○ | 必要に応じて保護者様にお声掛けして立ち上がるように助言していく。 |

| | | | | | | |
|---------|----|---|---|---|---|---|
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | | ○ | | 苦情等あれば迅速に対応するとともに、今後同様の案件が発生しないようにスタッフに周知するようにしている。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | | |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | ○ | | 民生委員や町内会長等と関わりを持ち地域に開かれた事業所を目指す。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | | ○ | | マニュアルについては策定しているが保護者様への周知が不足しているので、今後必要に応じて実施していく。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | | 毎月1度実施している。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | | | ○ | 外部研修など導入するなどして専門的な研修を実施していく。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | | | | 該当事例なし |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | | |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | | ○ | | 今後積極的に行う。 |